

2024年8月21日

各 位

会社名	株式会社倉元製作所
代表者名	代表取締役社長 渡邊敏行
(コード番号	5216 東証スタンダード)
問合せ先	取締役 小峰 衛
電話番号	0228-32-5111

成長が期待される AI を活用した全自動業務用お掃除ロボットの

日本での開発・販売・メンテナンスサービス提供会社である

株式会社アイウイズロボティクスとの株式交換に関する基本合意締結のお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、当社を株式交換親会社とし、株式会社アイウイズロボティクス（以下、「IWR」といいます）を株式交換完全子会社とする株式交換（以下、「本株式交換」といいます。）を行うことについて、基本的な合意に達したことから IWR との間で基本合意を締結することを決議しましたので、お知らせします。

記

1. 本株式交換の目的

当社は、主に液晶ガラス基板・カラーフィルタ基板・成膜ガラス基板の加工・販売を中心とした基板事業、不動産賃貸事業及び半導体製造装置関連部品の加工・販売を中心とした半導体加工事業を主たる業務としております。

当社においては、営業と技術の両面から顧客ニーズを的確に捉え、顧客ニーズに資する製品を供給するとともに、新たな市場開拓を通して受注の安定・拡大に努めております。具体的には、価格競争力の向上を図り採算性を維持しながら売上の拡大に努め、研究開発を強化し、付加価値の高い新製品の開発を積極的に進めております。

中長期的な経営戦略として、基板事業では、FPD 向けガラス基板加工のコストダウンと生産性向上による価格競争力の一層の強化を図るとともに、ガラスメーカーや最終ユーザーとの連携強化による受注の拡大、保有技術を応用展開できる非 FPD 事業等の新規事業分野の開拓に注力しております。

今般、本株式交換により株式の取得を行う IWR は、東京都品川区大井町に本社を置き、業務用支援ロボットの開発・販売・メンテナンスサービスの提供事業を行っている会社です。具体的には、業務用お掃除ロボットの 카테고리 に於いて、AI と IOT を融合した技術で、「人間生活」、「社会インフラ」、「ビジネス領域」の効率を改善していくことを目指しています。また、IWR の事業戦略は、日本市場を対象として、お客様のご意向をロボットに反映したカスタマイズを開発の基本とした差別化戦略を推進しており、清掃業務の省力化を図り、将来に向けた安定した環境構築をご支援することを目的に、大手コンビニエンスストア並びにパチンコ・パチスロ店、小売、ビルメンテナンス業界等の幅広いお客様への販売展開を進めております。

IWRは、現在の日本の労働力不足・人件費高騰の経済環境を背景に、AIを活用した全自動の業務用お掃除ロボットを2023年6月より日本市場に投入し販売を開始しております。これまでにコンビニ、ドラッグストア、オフィスに311台、清掃会社に32台、遊技場、ビルメンテナンス会社に53台の納入実績があり、また、今月8月には、既に業務用ロボットを積極的に導入しているコンビニチェーン店より追加注文を頂くなど、着実に受注実績を増やしております。さらに、大手ビルメンテナンス会社とのエレベータ連携の実証試験にも合格し、お掃除ロボットが無人でエレベータを操作し各階を移動して清掃を完了させることで、ビル1棟まるごと全自動清掃が可能となり、今後、こうしたエレベータ連携を含め、日本市場でのさらなる市場拡大が期待できます。

IWRは、その前身となる会社である、AIによる各種ソリューション提供を目的とした深圳市艾唯尔科技有限公司を2016年4月に中国深圳市設立、2018年3月には、深圳市艾唯尔科技有限公司、伊藤忠商事株式会社及び富士通コネクテッドテクノロジーズ株式会社（現FCNT株式会社）との3社で中国でのAIソリューション事業を行う目的で、合弁会社小達人智能科技設立を設立、その後、2023年2月に、業務用お掃除ロボットの日本での販売及び日本顧客向けの製品開発（カスタマイズ）等のマーケティング業務を行うことを目的にIWRを設立しました。上述の深圳市艾唯尔科技有限公司は、これら日本向け製品のソフトウェア開発の業務を担当します。

IWRとの本件検討経緯は、IWRが2024年6月にスマート永輝有限責任事業組合（7%）、株式会社ネットスターズ（東証グロース5590：5%）を割当先として第三者割当増資を実施し、それに先立ち、当社は、2023年12月より、当社の取引先で上記スマート永輝有限責任事業組合の組合員である株式会社永輝商事より、IWRが日本での製造拠点を探しているため、当社の遊休工場を活用できないかとの打診がありました。

当社としては、本社若柳工場及び花泉工場合わせて17万4千㎡の土地と延べ4万8千㎡の建物の自社での有効活用が課題（現在、若柳工場の第一工場2,692㎡、第2工場6,426㎡、第3工場の一部約1,000㎡および、花泉工場の研究棟・2号棟の合計約1,200㎡が自社使用、他社賃貸ともにしておらず遊休工場となっております。）となっており、現状では、これらの遊休工場をIWRへの貸し出し、あるいは掃除ロボットの製造組立には特に加工機械等の設備は不要であることから、当社がIWRから製造組立受託を受けるなど、協業の可能性について交渉してまいりました。

具体的には、IWRは、日本での製造を要望しており、これは、①日本顧客の要望として、日本製造製品のニーズが高いこと、また、②日本製造の製品であれば、顧客が省力化投資に関する補助金（<https://shoryokuka.smri.go.jp/>）の活用もできる可能性があることから、市場がより拡大することが想定されるためです。

当社としても、製造組立受託により、③遊休工場の活用及び④製造人材の活用も可能で、当社の経営効率向上につながることから、全面的な提携の可能性を検討しました。その過程で、両社は、IWRが当社子会社として当社グループに加わることで、上記①～④のニーズを満たすこと、さらには、当社既存主力事業（基板事業）の市場縮小が続く中で、⑤成長が期待される業務用お掃除ロボット事業*1への参入により当社事業の多角化による高成長と収益向上も期待できる*2、と判断しました。

また、IWRの株主としても当社株式を保有することで事業成功に向けた⑥インセンティブにつながることも、また、⑦IWRにとっても、IWRが当社の国内及び海外の強力な人脈・顧客ネットワークを活用し、IWRの営業力を強化することもできることから、これらを総合的に勘案して、両社が株式交換により経営統合を進めることで一致いたしました。

*1 株式会社富士経済（本社：東京都中央区）の調べでは、自律走行ロボットの国内業務向け稼働台数が2030年に2023年比5.4倍（年率27.24%の成長）の4万9850台になる予測を発表しました。人手不足を背景に飲食店や小売店などにおける清掃や配膳を担うロボット需要が市場をけん引するとみています。

*2 IWRの事業計画では、2023年12月期から向こう3年間で、売上高成長率、298%（年平均成長率）、売上高当期純利益率10%超を計画しています（IWRの計画数値であり、当該計画数値の達成を保証するものではありません）。

【業務用お掃除ロボット（導入イメージ）】



【動画ニュース】

ANN news CH 人手不足のコンビニに新型ロボット AIで店長業務の補助も(2024年2月6日)

https://youtu.be/r-Pfrz1M3gg?si=VhJ_aPRSRwIO6xhn

【株式会社アイウイズロボティクス 会社案内】

<https://www.kuramoto.co.jp/60022285/wp-content/uploads/2024/10/20240821-2.pdf>

2. 本株式交換の要旨

(1) 本株式交換の日程

本株式交換の日程につきましては、以下の日程にて行うことを予定しています。

基本合意承認取締役会（当社）	2024年8月21日
基本合意承認取締役会（IWR）	2024年8月21日
基本合意締結日（当社・IWR）	2024年8月21日
株式交換契約承認取締役会決議日（当社）	2024年9月上旬（予定）
株式交換契約締結日	2024年9月上旬（予定）
株式交換承認臨時株主総会（IWR）	2024年9月下旬（予定）
株式交換承認臨時株主総会（当社）	2024年10月下旬（予定）
株式交換効力発生日	2024年11月1日（予定）

（注1）上記日程は、本株式交換に係る手続き進行上の必要性その他の事由によって必要となる場合には、両社の合意により変更されることがあります。

（注2）上記日程は、両社の合意により変更されることがあります。

（注3）当社及びIWRの臨時株主総会については、今後決定する予定です。

(2) 本交換の方式

株式交換に係る割当ての内容につきましては、本株式交換の当事会社間で協議の上、株式交換契約を決定する予定でありますので、株式交換契約の詳細内容等につきましては、別途株式交換契約締結時にお知らせいたします。

(3) 本株式交換に係る割当ての内容

本株式交換に係る割当ての内容につきましては、以下を予定しております。

① 当社がIWRの株主に交付する当社普通株式株式数は、以下の2)の金額を1)の株価で除した数をもって交付する方法による。なお、この方法は、デューデリジエンスの結果もしくは、当社及びIWRから独立した第三者算定機関の評価により、変更される場合があることを当社及びIWRは了解する。

1) 当社の株式価値は、本株式交換契約締結日の前日（以下、「基準日」という。）の東証証券取引所の終値及び基準日までの3か月平均の株価の単純平均値と基準日の東証証券取引所の終値のどちらか低い株価を用いる。

2) IWRの発行済株式総数の株式価値は、30億円とする。

② 前項①により算定された当社の交付する普通株式数のうち、2分の1に相当する株式（以下本条において「本普通株式」という）については、以下が適用される。

1) 本普通株式の割当てを受けた本割当て対象株主（別途当社が指定する者。以下同じ。）5年間譲渡できない（別途当社と本割当て対象株主との間で、かかる無償取得の覚書を締結することとする）。ただし、対象会社の確定決算における税引き後当期純利益の累計金額が5年以内に総額15億円を超えた場合は、譲渡可能とする。

2) 税引き後当期純利益の累計金額が5年間で総額15億円未満の場合は、当該5年間で獲得した税引き後当期純利益の累計金額が15億円に達しない額を15億円で除した割合をもって、当社は、本普通株式を本割当対象株主から無償で取得することができる（別途当社と本割当対象株主との間で、かかる無償取得の覚書を締結することとする）。ただし税引き後当期純利益の累計金額が5年間で総額5億円未満の場合は、当社は、本普通株式の全部を本割当対象株主から無償で取得することができる。

(4) 本株式交換に伴う新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

IWRは、新株予約権及び新株予約権付社債のいずれも発行していないため、該当事項はありません。

3. 本株式交換当事会社の概要

(2024年8月21日現在)

	株式交換完全親会社
① 名称	株式会社倉元製作所
② 所在地	宮城県栗原市若柳武鎗字花水前1-1
③ 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 渡邊 敏行
④ 事業内容	液晶ガラス基板・カラーフィルタ基板・成膜ガラス基板の加工・販売を中心とした基板事業、不動産賃貸事業及び半導体製造装置関連部品の加工・販売を中心とした半導体加工事業
⑤ 資本金	80,000,000円
⑥ 設立年月日	1980年8月29日
⑦ 発行済株式数	35,455,519株
⑧ 決算期	12月31日
⑨ 従業員数	84名
⑩ 主要取引先	TOPPAN株式会社、株式会社ソアー
⑪ 主要取引銀行	みずほ銀行

⑫ 大株主及び持株比率	ニューセンチュリー有限責任事業組合 35.45% 那須マテリアル株式会社 7.79% 渡邊敏行 3.38% 楽天証券株式会社 1.96% 株式会社祥豊 1.55% 李 克 1.20% 橋野 雅幸 0.61% 林 文 0.58% 山中 夕典 0.54% 株式会社SBI証券 0.47% 任 寧 0.44%		
	1. 所有株式数につきましては下記 3.4. を除き、2024 年 6 月 30 日時点の株主名簿に記載された数値を基準として記載しております。 2. 総議決権数に対する所有議決権数の割合及び割当後の総議決権数に対する所有議決権数の割合につきましては、小数点第 3 位を四捨五入して計算しております。 3. ニューセンチュリー有限責任事業組合の所有株式数につきましては、2024 年 7 月 4 日に同組合より 170 万株（発行済株式総数の 4.79%）の株式を市場にて売却した旨の報告を受けており、売却後の比率を記載しております。 4. 当社代表取締役の渡邊敏行は、2024 年 6 月 30 日までに所有株式数 1,196,600 株を楽天証券に貸株により貸し出しており、同日現在の株主名簿上には、保有株式の残高はありませんが、同氏の所有する株式数 1,196,600 株は売却しておりませんので、当該貸株契約は、2024 年 7 月 19 日付けですべて解除しており、同日以降、同氏に名義変更がなされておりますので、上記に記載しております。		
⑬ 当事会社間の関係等	資本関係	該当事項はありません。	
	人的関係	該当事項はありません。	
	取引関係	該当事項はありません。	
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。	
⑭ 最近 3 年間の経営成績及び財務状況（千円）			
決算期	2021 年 12 月期	2022 年 12 月期	2023 年 12 月期
純 資 産	688,120	689,056	197,481
総 資 産	1,668,633	1,531,350	1,117,044
1 株当たり純資産(円)	20.78	20.81	5.87
売 上 高	1,033,356	1,058,494	704,561
営 業 利 益	△42,825	△117,348	△407,489
経 常 利 益	8,798	△32,854	△399,169
当 期 純 利 益	9,025	744	△555,258
1 株当たり当期純利益(円)	0.28	0.02	△16.58
1 株当たり配当金(円)	—	—	—

		株式交換完全子会社		
① 名称	株式会社アイウイズロボティクス			
② 所在地	東京都品川区大井一丁目 47 番 1 号			
③ 代表者の役職・氏名	代表取締役 王 馳			
④ 事業内容	電子機器の設計、製造、販売及び輸出入			
⑤ 資本金	64,868,413 円			
⑥ 設立年月日	2023 年 2 月 1 日			
⑦ 発行済株式数	565 株			
⑧ 決算期	12 月 31 日			
⑨ 従業員数	15 名			
⑩ 主要取引先	一般法人			
⑪ 主要取引銀行	三菱 UFJ 銀行			
⑫ 大株主及び持株比率	王 馳 88.0%, スマート永輝有限責任事業組合 7.0%, 株式会社ネットスターズ 5.0%			
⑬ 当事会社間の関係等	資本関係	該当事項はありません。		
	人的関係	スマート永輝有限責任事業組合の組合員である株式会社永輝商事の代表取締役である富士靖史氏は、当社筆頭株主であるニューセンチュリー有限責任事業組合の組合員（組合出資比率 0.003125%）であります。		
	取引関係	該当事項はありません。		
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。		
⑭ 最近 3 年間の経営成績及び財務状況（千円）				
	決算期	2021 年 12 月期	2022 年 12 月期	2023 年 12 月期
	純 資 産	—	—	21,545
	総 資 産	—	—	267,771
	1 株当たり純資産(円)	—	—	492,452.542
	売 上 高	—	—	326,081
	営 業 利 益	—	—	21,564
	経 常 利 益	—	—	24,848
	当 期 純 利 益	—	—	16,545
	1 株当たり当期純利益(円)	—	—	33,091.238
	1 株当たり配当金(円)	—	—	—
⑮ 会 社 沿 革	<p>2016 年 4 月 深圳市艾唯尔科技有限公司設立 (AI ソリューションズ会社)</p> <p>2017 年 7 月 深圳市艾唯尔科技有限公司は、AI 搭載人型接客サポートロボット日本市場発売</p> <p>2018 年 3 月 深圳市艾唯尔科技有限公司は、深圳において富士通、伊藤忠商事との合弁会社小達人智能科技設立（その後、2021 年 3 月に、深圳市艾唯尔科技有限公司が当該合弁会社の全株式を買い取り 100%子会社化し、発展的に解消しました。）</p> <p>2023 年 2 月 日本において株式会社アイウイズロボティクス設立</p> <p>2023 年 6 月 伊藤忠商事グループ会社及び株式会社ネットスターズより受注獲得。</p> <p>2023 年 11 月 業務用掃除ロボット J40 50 台受注&搬入開始</p> <p>2023 年 12 月 業務用掃除ロボット J30S ファミリーマート 300 台受注&搬入開始</p> <p>2024 年 4 月 業務用掃除ロボット J35 ドラッグストア&葬儀場にて POC 合格、新製品リリース</p>			

4. 本株式交換後の状況

本株式交換による当社の名称、所在地、代表者の役職・氏名、取締役及び監査役の構成、事業内容、資本金および決算期についての変更はありません。

5. 今後の見通し

本株式交換は、当社グループの中長期的な企業価値の向上に資するものと考えており、契約締結に向けて当社及びIWRは引き続き協議を進めて参ります。

なお、本株式交換による業績に与える影響等含め、本株式交換にかかる詳細につきましては、株式交換契約締結時にお知らせいたします。また、本株式交換の計画に大幅な変更が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

6. 支配株主との取引等に関する事項

該当事項はありません。

以上